

吉野ヶ里遺跡 および 瀬ノ尾遺跡
より出土した
石棺墓 蓋石に印された線刻群の
考古天文学的解釈の試み

高田裕行 TAKATA Hiroyuki

国立天文台 天文情報センター出版室 専門研究職員

第7回考古天文学会議（2023年12月23日 宇佐市教覚寺）

吉野ヶ里遺跡

「謎のエリア」から石棺墓が出土し、3枚セットの蓋石が出現。



吉野ヶ里遺跡

石棺墓 蓋石③

表面に線刻あり



吉野ヶ里遺跡

石棺墓 蓋石②

表面に線刻あり



吉野ヶ里遺跡

石棺墓 蓋石①

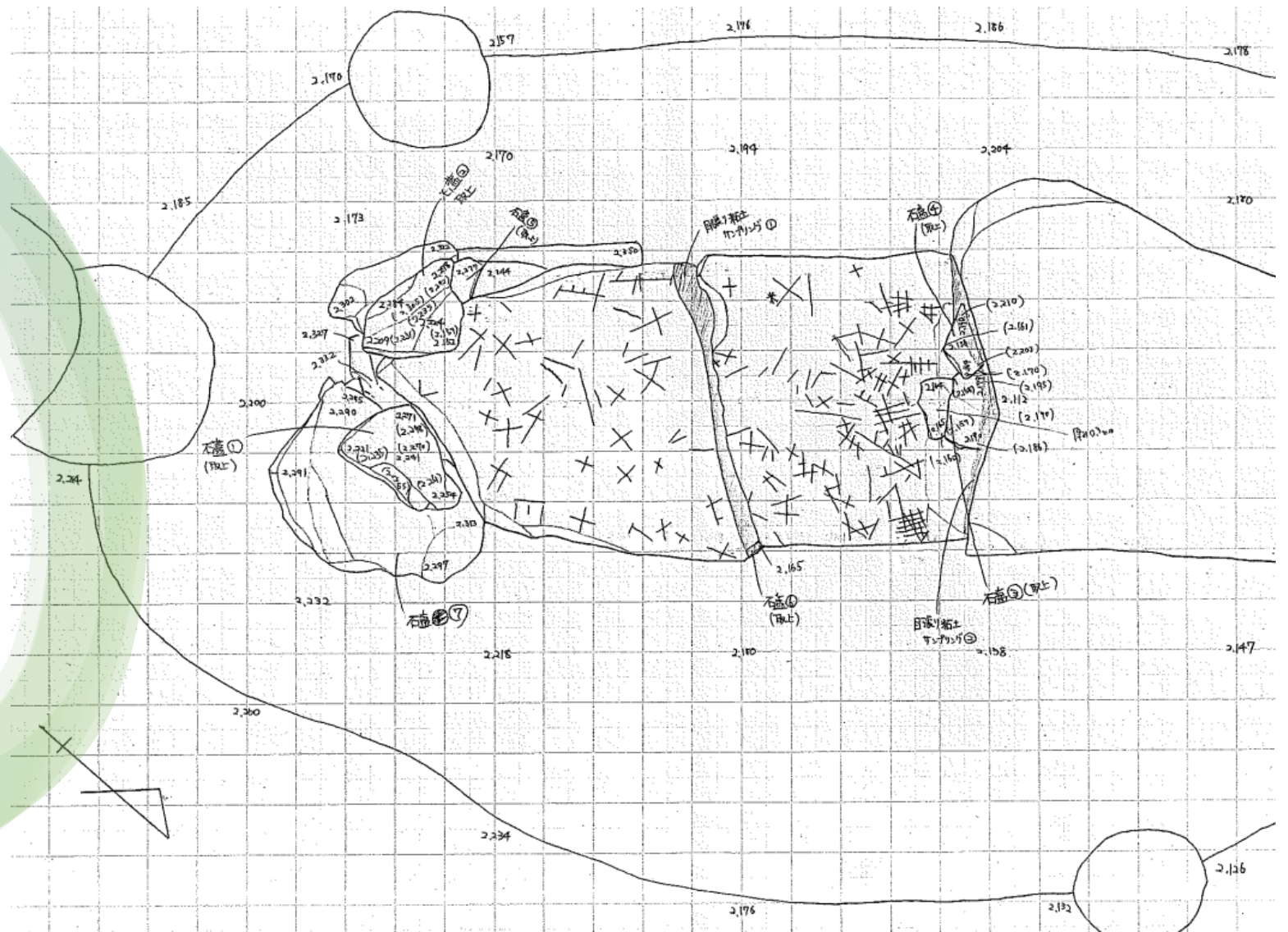
表面に線刻なし



吉野ヶ里遺跡

石棺墓 蓋石②③

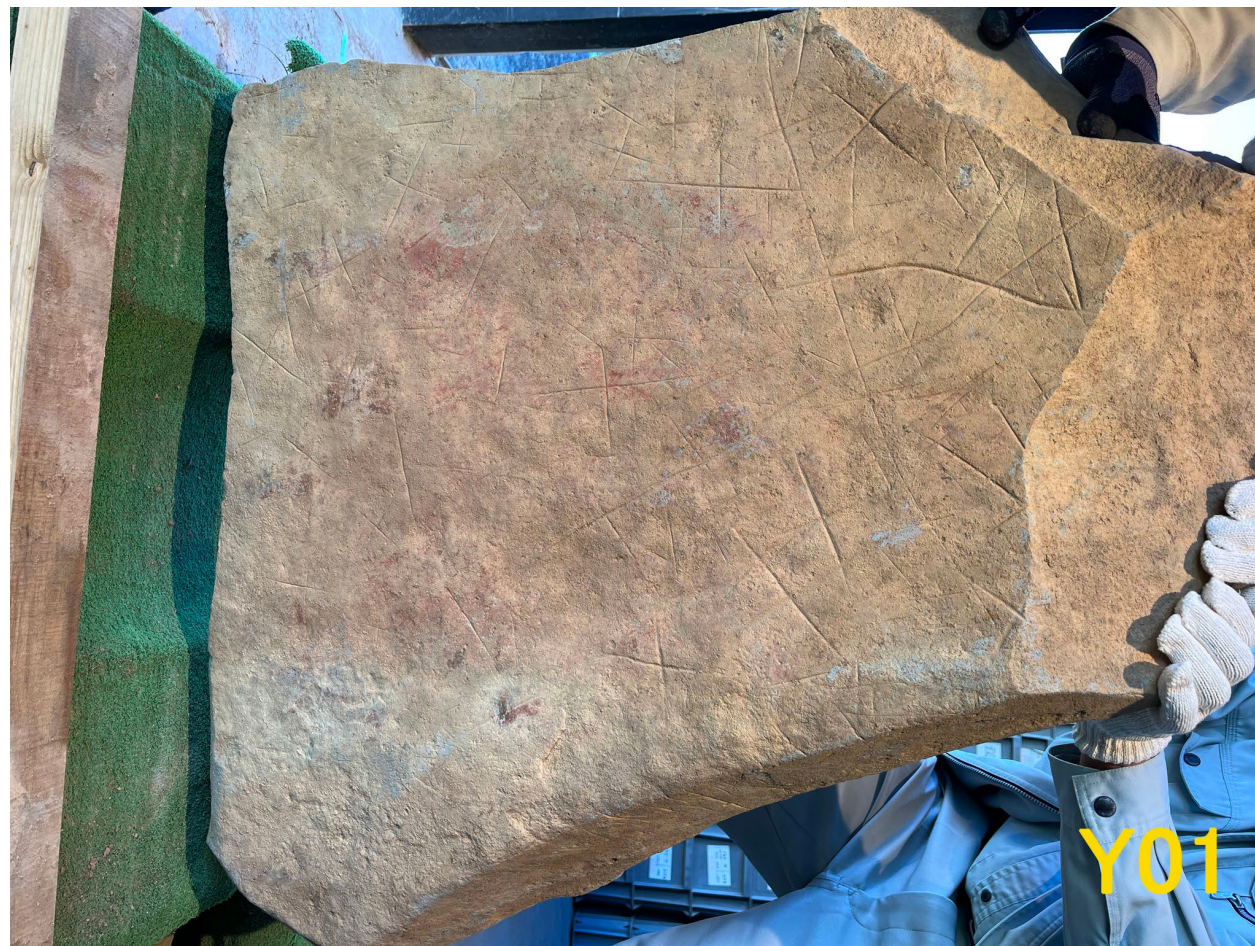
線刻実測図



吉野ヶ里遺跡

石棺墓 蓋石①

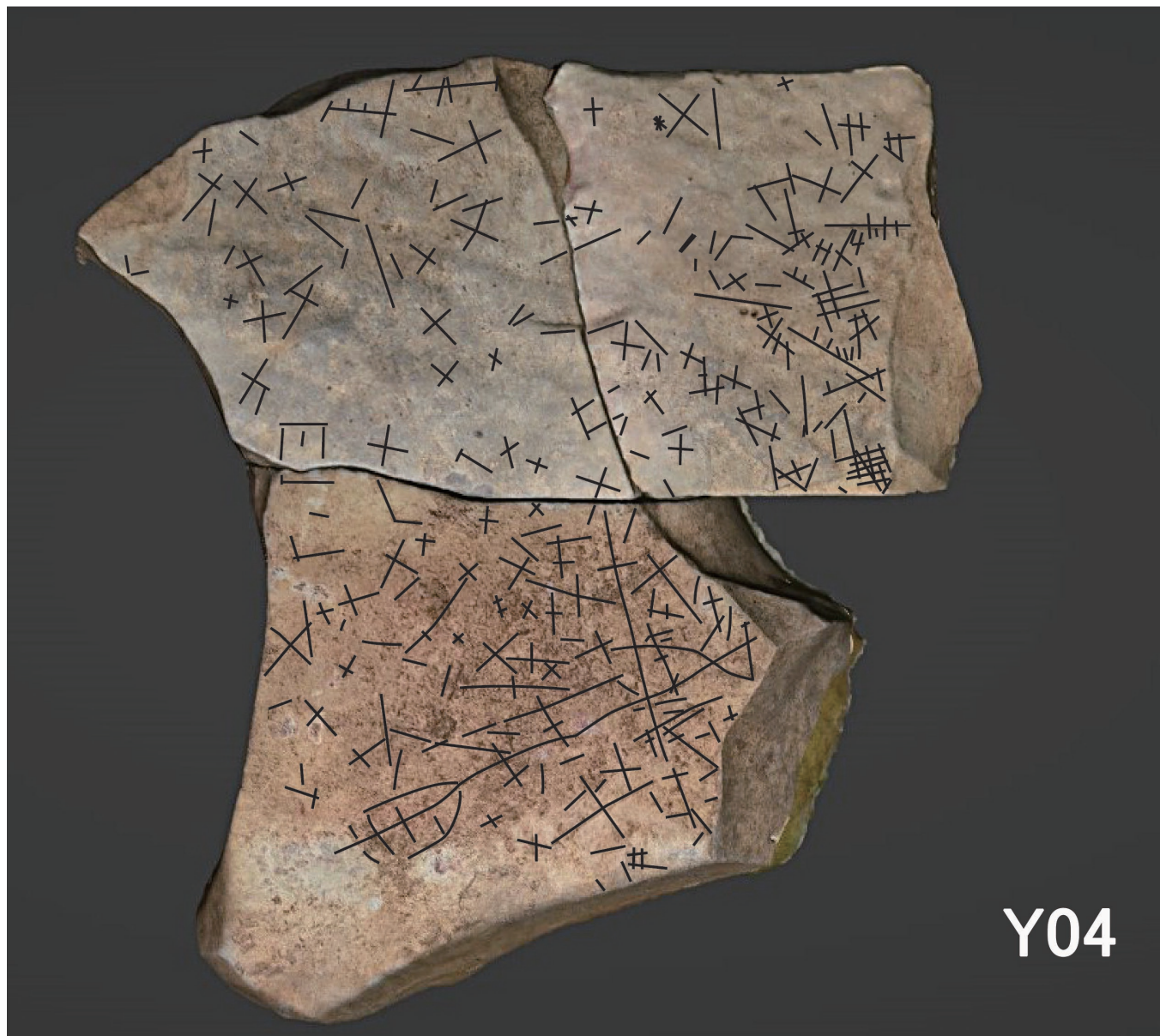
ひっくり返したら
(石棺内側面に)
線刻ありました



Y01

吉野ヶ里遺跡
石棺墓 蓋石①②③

線刻面も考慮して
つないでみたら、
もとはこんな1枚
岩だった



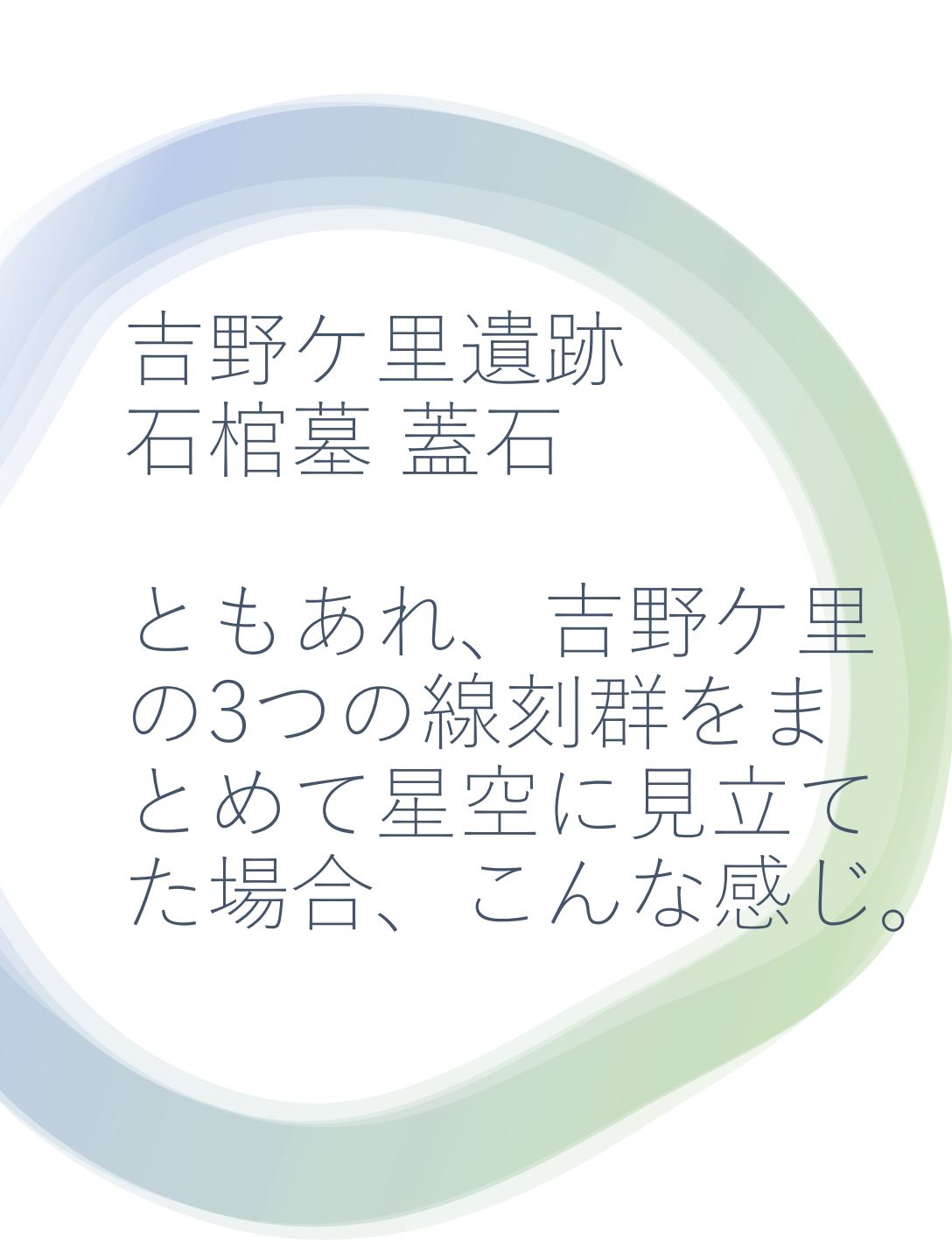
Y04

瀬ノ尾遺跡

石棺墓 蓋石

20年ほど前にお隣の
瀬ノ尾遺跡からも同
様に表面線刻された
蓋石が出土し、保管
されていた。

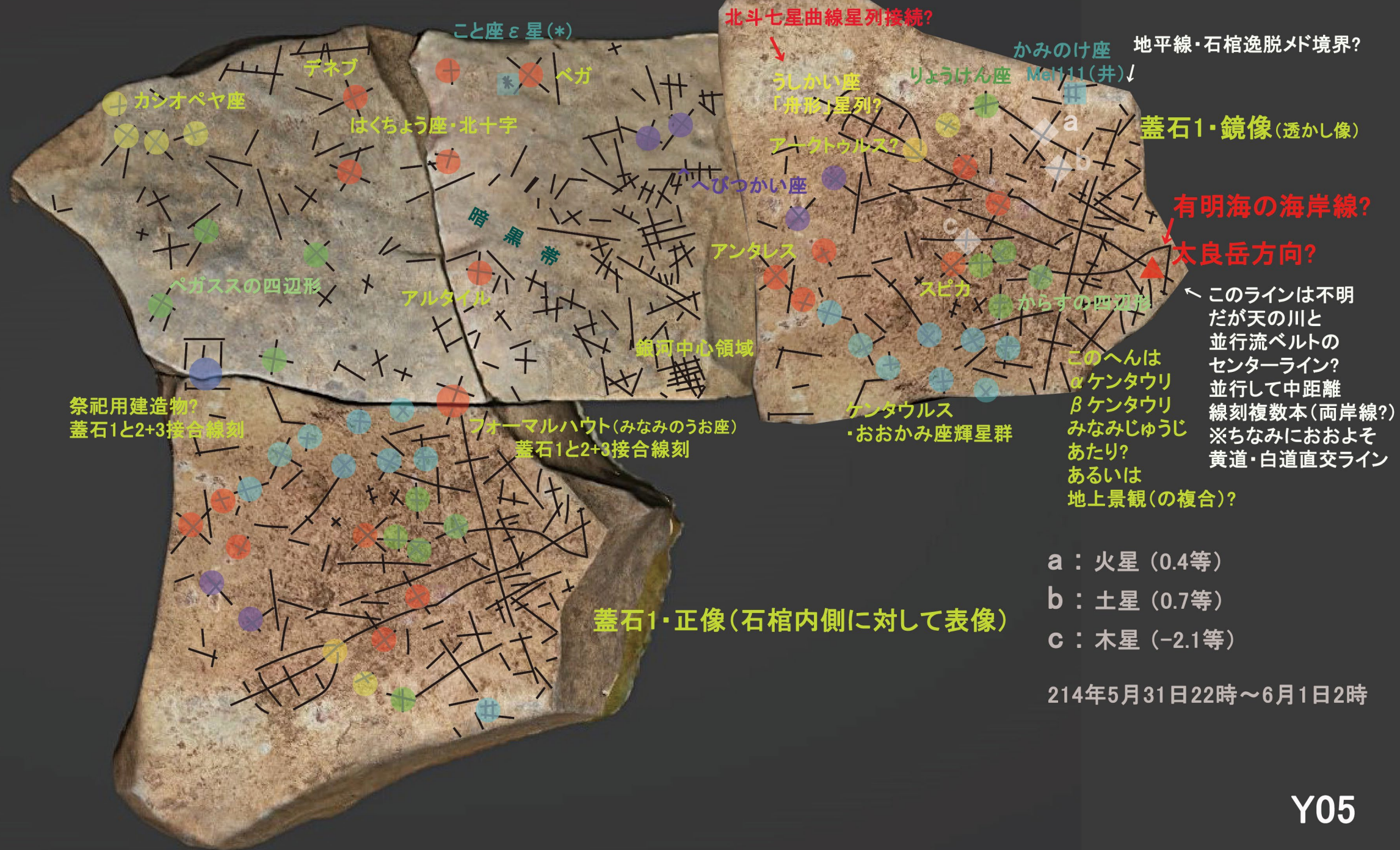


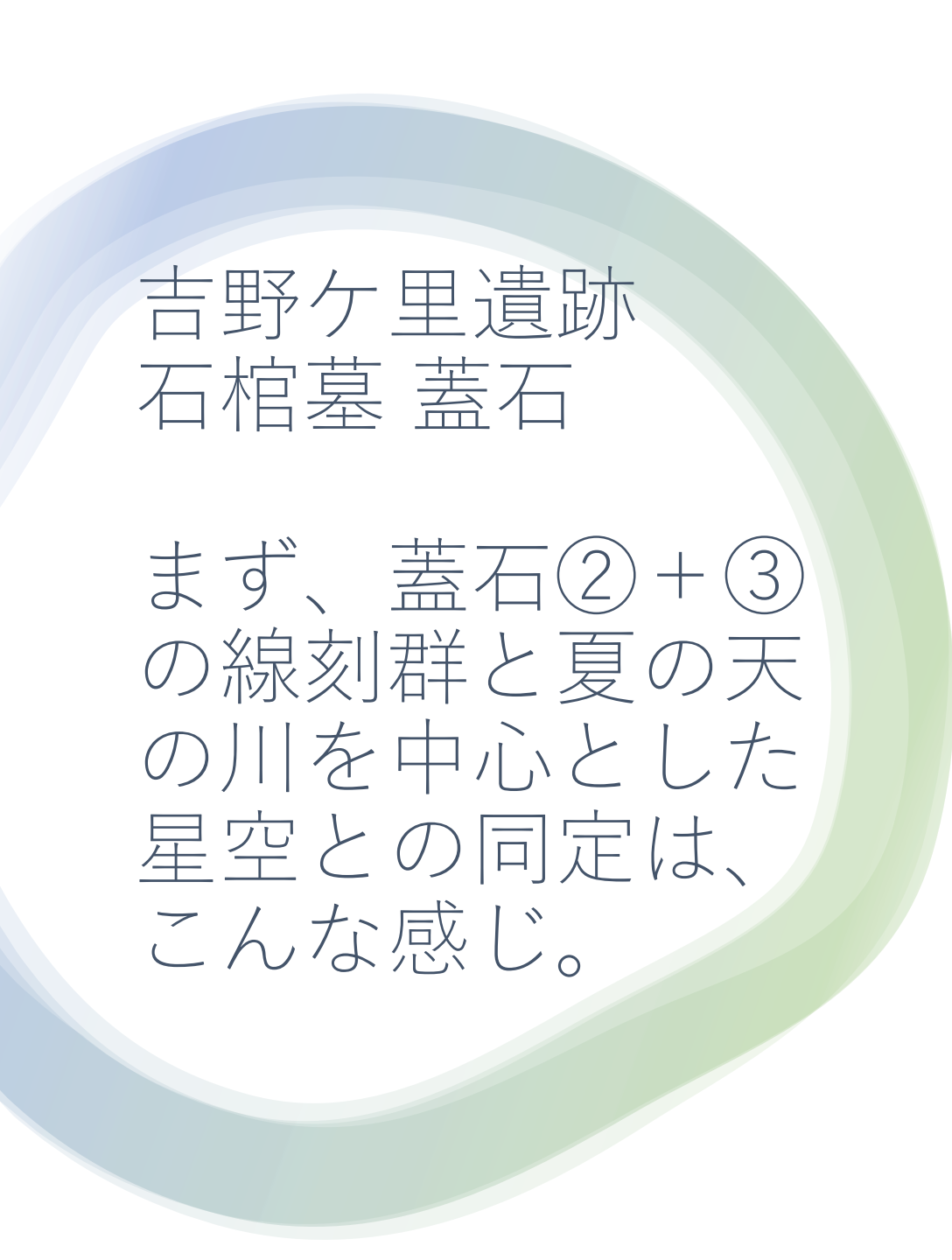


吉野ヶ里遺跡
石棺墓 蓋石

ともあれ、吉野ヶ里
の3つの線刻群をま
とめて星空に見立て
た場合、こんな感じ。

かなりすごい（笑）





吉野ヶ里遺跡
石棺墓 蓋石

まず、蓋石②+③
の線刻群と夏の天
の川を中心とした
星空との同定は、
こんな感じ。

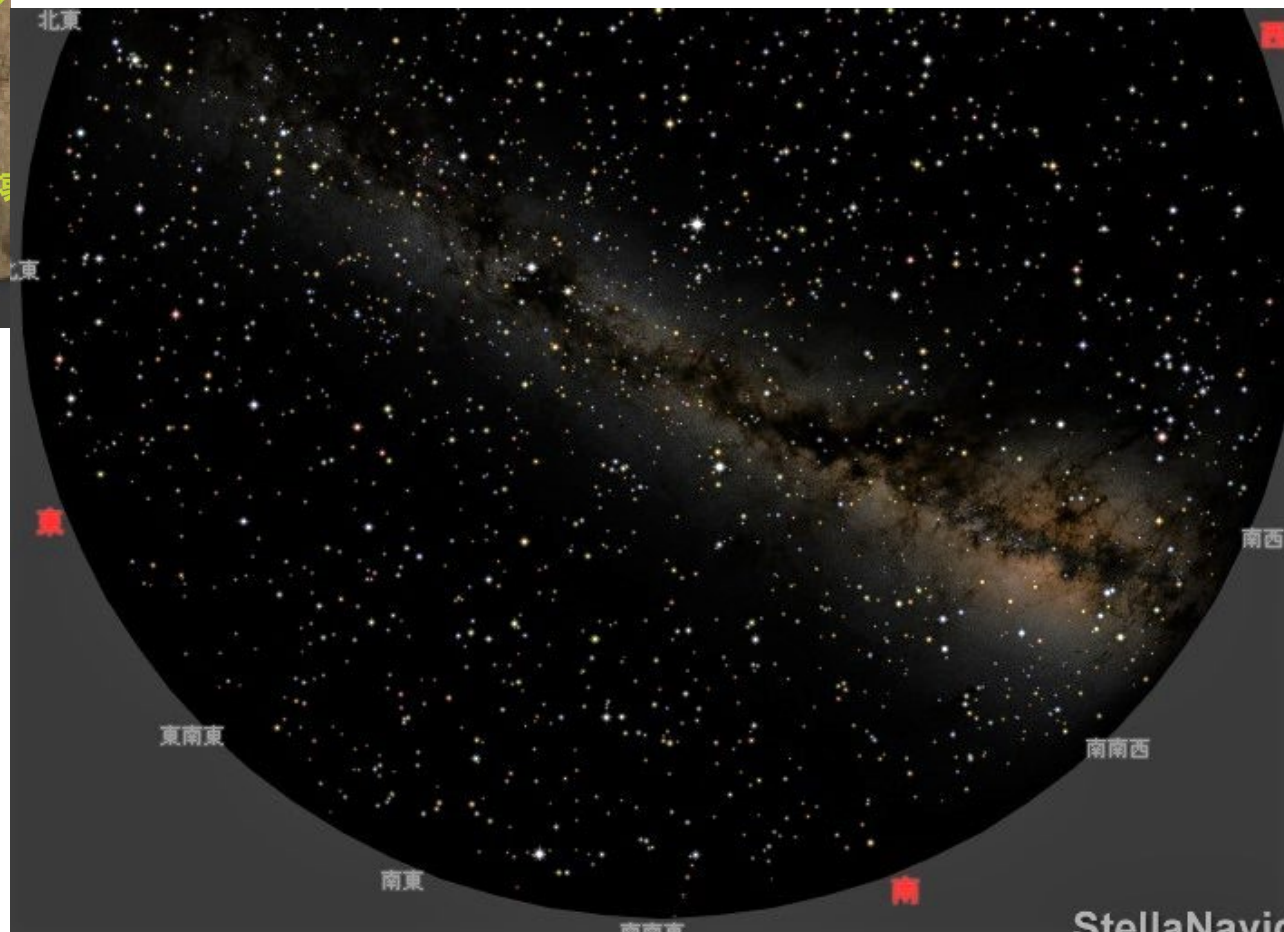
たとえば

AD214年6月1日02時
@吉野ヶ里

南南東を向いたときに見
える星空



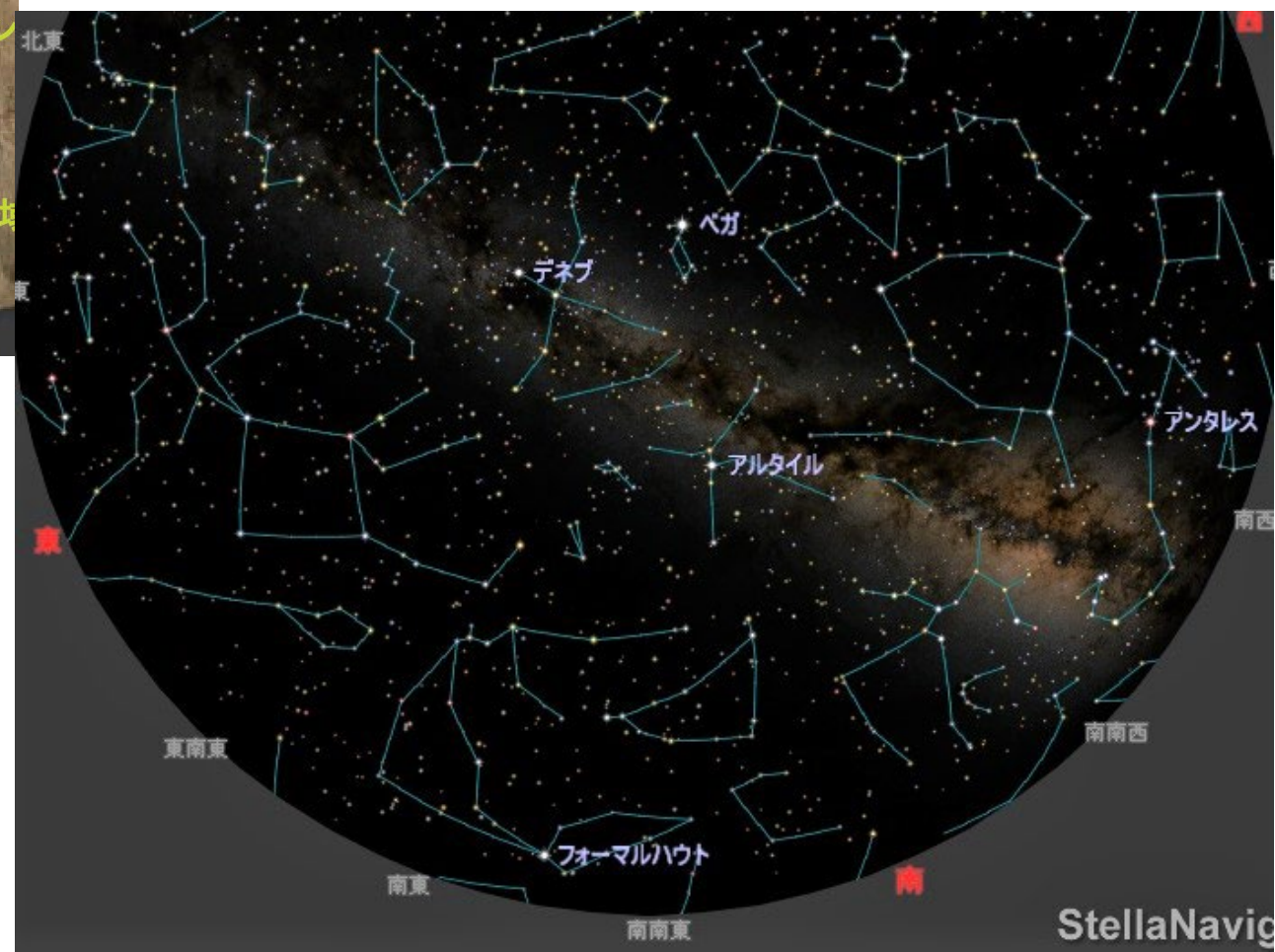
こちらは、実際の星空のシミュレーション画像。



線刻群を星空景観に見立てて、
天体の印と名まえを入れてみた。



星空シミュレーション画像にも、1等星の名まえと現在使われている標準的な星座線を追加してみた。



さらに . . .

吉野ヶ里遺跡
石棺墓 蓋石② + ③

次に、蓋石①の鏡像
と、先の夏の天の川
景観（② + ③）との
同定から4時間遡った
春の星空との同定は、
こんな感じ。

たとえば

AD214年5月31日22時
@吉野ヶ里

南南東を向いたときに見
える星空

北斗七星曲線星列接続?



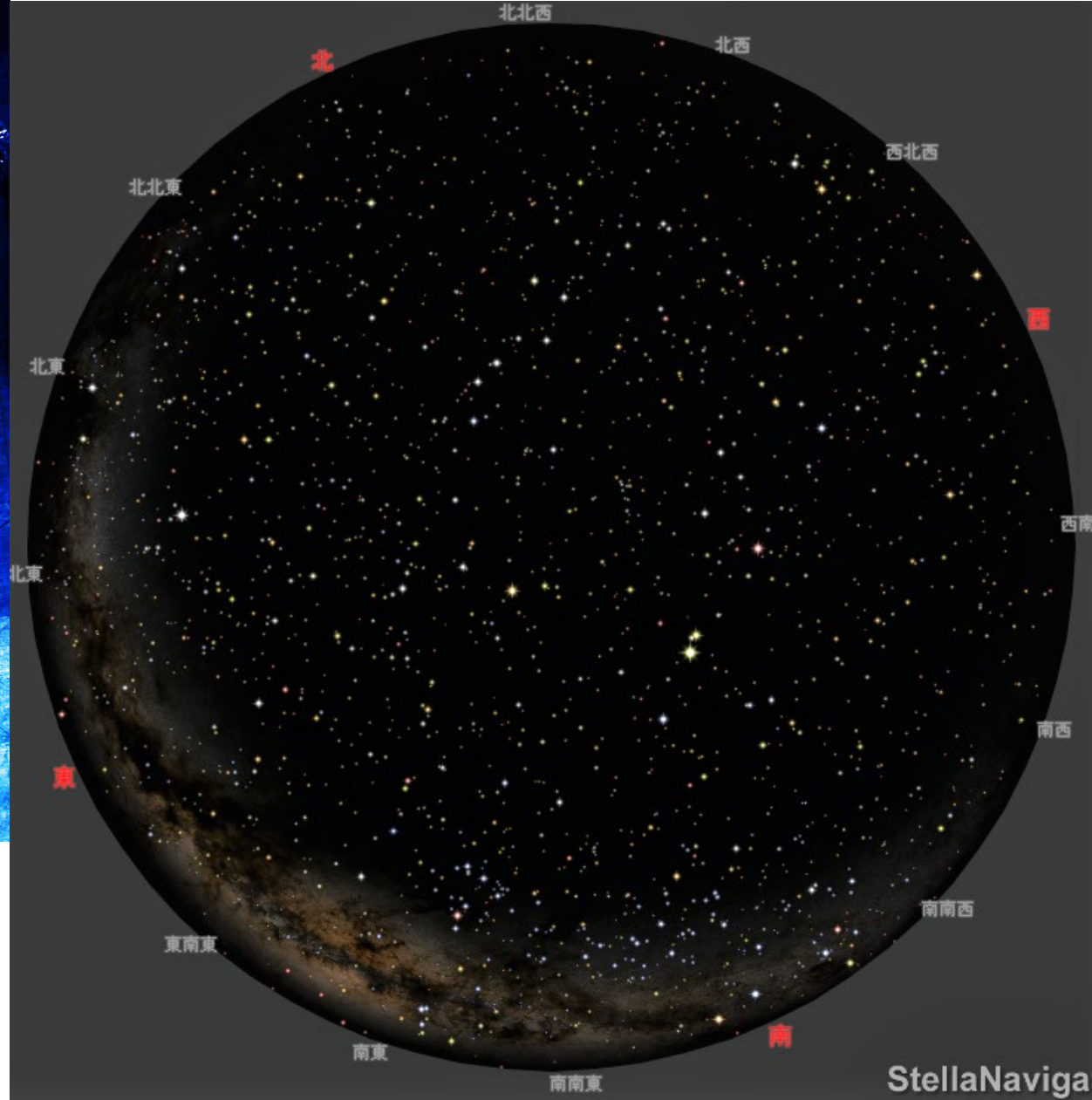
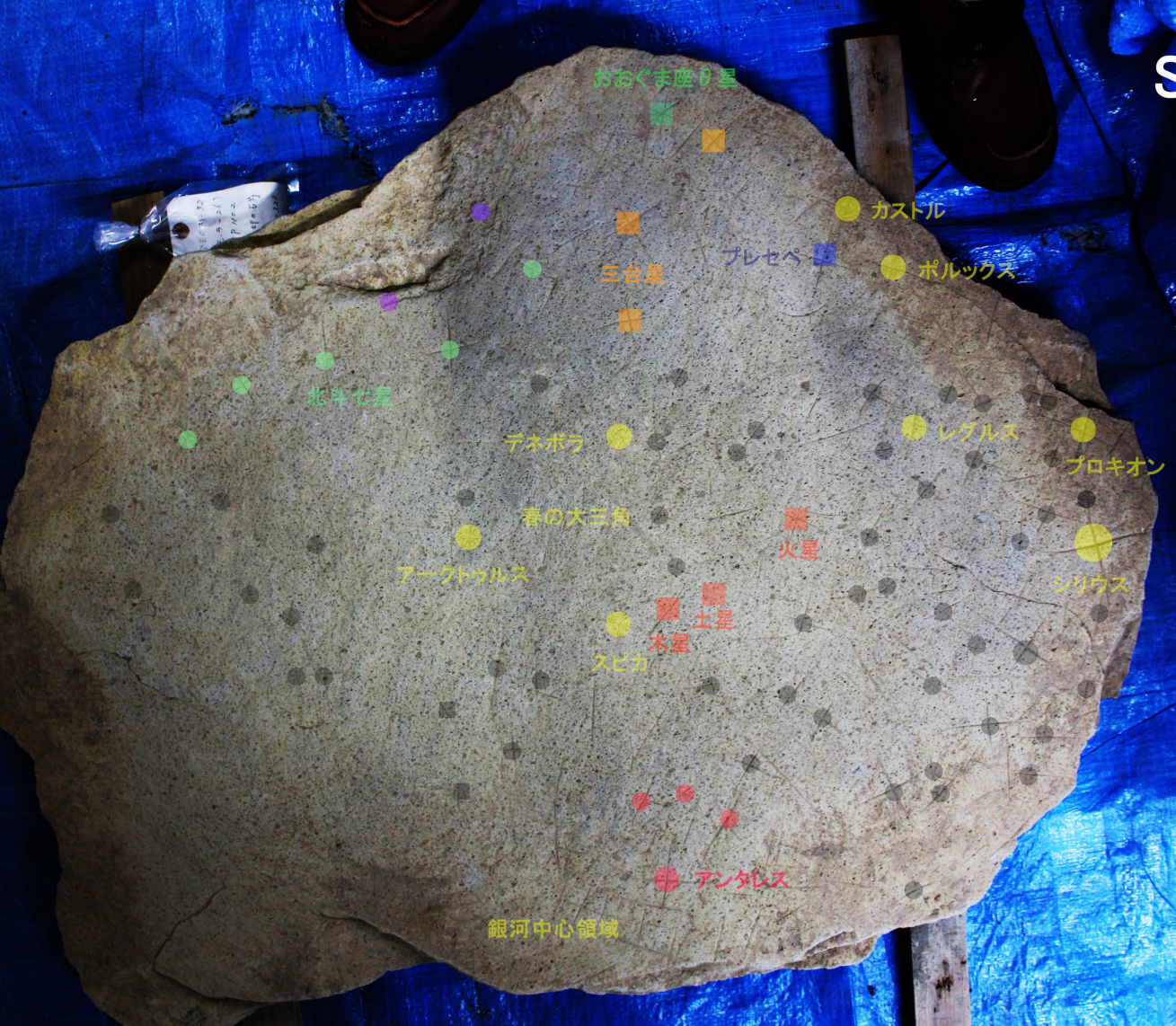


瀬ノ尾遺跡 石棺墓 蓋石

今度は、瀬ノ尾の
蓋石を、吉野ヶ里
の①（鏡像）と同
様に春の星空と推
定して同定すると、
こんな感じ。

AD214年4月30日22時
@吉野ヶ里（≡瀬ノ尾）

南南西を向いたときに見
える星空



線刻のいろいろ1

線刻にはさまざまな形が見られます。数の多い記号は「×」「一」ですが、少数ながら特徴的な記号も。それぞれ特別な天体と同定が可能です。

- 「×・＋」は星（一部例外あり）
○大きさも明るさに対応（一部例外あり）
- 「キ・井」は微光星の密な集まり、あるいは薄白い星雲状天体
→プレセペ星団・天の川領域
- 「田」は大規模な星雲状天体で「キ・井」印の集合
→銀河中心領域
- 「一」は微光星の集まり。あるいは、流星？ 境界？ 作業用区切り？

線刻のいろいろ2

線刻にはさまざまな形が見られます。数の多い記号は「×」「一」ですが、少数ながら特徴的な記号も。それぞれ特別な天体と同定が可能です。

- 「＊」は近接する二重星
→こと座イプシロン星（吉野ケ里②）
→おおぐま座シータ星（瀬ノ尾）
- 「（」は三日月？（瀬ノ尾）
- 「舟形」は、アークトゥルス付近の不明な記号群（吉野ケ里①・瀬ノ尾）
- 「長大線分」「波状線」は吉野ケ里蓋石①に見られる不明な記号群
- （天の川暗黒帯）無記号にて描写

関係者集まれ

ここでは、とりあえず、吉野ヶ里の石棺墓について妄想してみます。

●葬られた人

天文人? (占星術師?) / 石蓋がアンバランスに超豪華 / 蓋石①が裏返しで埋葬されているのはなぜ? / 謎のエリア最奥部埋葬クラスの格式なのに副葬品は出土せず (→改葬?) . . .
→たぶん、わけあり人 (笑)

●葬った人、線刻を印した人(たち)

これが真正な天文図とすれば、これほどの天文 (景観) 情報に通じ、写実的な描写を可能とする能力は特筆もので、たとえばスターナビゲーションに通じた南方の航海民族の可能性も? 星は×印で○と印す中華圏フォーマットでもない。ただし「三台星」の線刻が認められることから、中華圏の影響も見られ、その交流に関する (わけあり?) 検討も必要。

これから

天文屋の立場から見ると、今回の吉野ヶ里・瀬ノ尾の石蓋線刻は、3世紀前半の吉野ヶ里の天文景観を描写している可能性は高いように見受けられるので、この仮説をより確からしいものにするための検証活動を多角的・学際的観点から今後も続行します。

ご清聴ありがとうございました。